

# ギャバ(γ-アミノ酪酸)\*を多く含む水稲品種

\*:人体にもともと存在するアミノ酸の一種で、精神の安定化、血圧正常化等の作用があることが知られています

ギャバを多く含む水稲を作って見ませんか



高ギャバ米



産地



高ギャバ米を活かした商品を開発しませんか

実需者



## 新需要創造協議会の設立

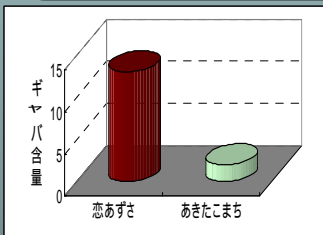
育成地及び(社)農林水産技術情報協会が協議会設立のお手伝をいします

### 恋あずさ

中晩生で、関東以北の栽培に適するウルチ性の水稲品種です。

発芽玄米のギャバ含量は「コシヒカリ」の約2倍あり、一般米や粘りの強い低アミロース米と混ぜると、発芽玄米の食味が向上します。

育成機関:東北農業研究センター



玄米中のギャバ含量(mg/玄米100g)



恋あずさ(左)、「あきたこまち」(右)の玄米

### はいいぶき

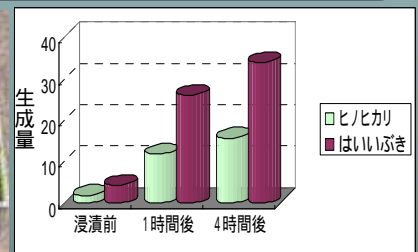
中晩生で、関東以西の栽培に適するウルチ性の水稲品種です。

発芽玄米のギャバ含量は「日本晴」の約2倍あり、五目ちらし寿司などの混ぜご飯や炊き込みご飯に適します。

育成機関:近畿中国四国農業研究センター



苗立ちの違い



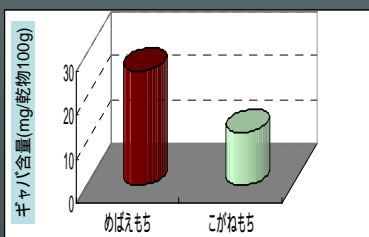
ギャバの生成量比較(mg/100g)

### めばえもち

冷害の危険性の少ない北陸、東北中南部、関東以西に適するモチ性の品種です。

モチの特性を活かした発芽玄米餅、おかき等への加工利用が期待されます。

育成機関:中央農業総合研究センター



めばえもちのギャバ含量

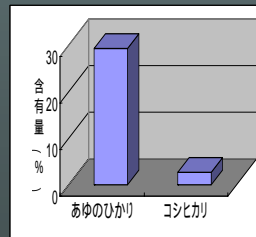


めばえもち(左)とコシヒカリ(右)の玄米

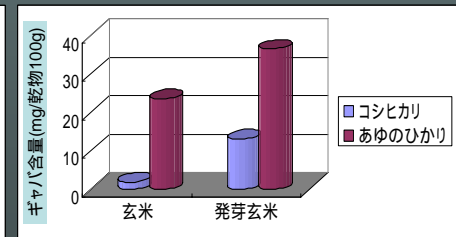
### あゆのひかり

東北南部、北陸及び関東以西に適した糖質品種です。多量のギャバと水溶性多糖の甘みを持つ特性を活かし、発芽玄米を添加したおにぎり、おはぎ等の食品や機能性食品の加工利用素材として期待されます。

育成機関:中央農業総合研究センター



植物グリコーゲンの含有量



ギャバ含量(平17 食品総合研究所)

品種の利用・新需要創造協議会に関するご相談は(社)農林水産技術情報協会まで

(TEL: 03-3667-8931)

## 新需要創造対策事業について

農林水産省では、公的機関が開発した研究成果をシーズとして、産地と企業の連携による画期的な新食品・新素材の事業化や、その原料となる農作物による新たな産地形成を支援する「新需要創造対策事業」を平成

19年度より実施しています。

この事業は、「新需要創造フロンティア育成事業」（全国ソフト事業）と「成分保証・分別管理システム確立推進事業（地区ソフト事業）、成分保証・分別管理機械・施設等整備事業（地区ハード事業）」により構成されています。

### 新需要創造フロンティア育成事業

#### 事業概要

新食品や新素材の開発・実用化、事業化を支援するため、公的機関が開発した研究成果を対象として、新食品や新素材の画期的な利用方法に関する情報を生産者や実需者に提供してその理解を深め、その研究成果を開発した試験研究機関と事業化に意欲のある生産者・実需者を個別に結びつける（マッチング）ことにより、関係者が一体となって事業化に取り組む「新需要創造協議会」の育成・活動を支援します。

#### 高GABA（ギャバ）米品種の活用促進（平成19年度事業の1つ）

（社）農林水産技術情報協会は、平成19年度の実施課題の1つである「GABAを多く含む巨大胚米」について、GABAを多く含む水稻品種「恋あずさ」、「はいいぶき」、「めばえもち」、「あゆのひかり」を対象に、これらの品種特性、GABAの機能性などについて、産地、企業、消費者などの関係者に広く情報提供し、理解を深めていただく取組を行っています。また、「GABAを多く含む巨大胚米品種」を活用した新食品の事業化に意欲のある産地と企業のマッチングを行い、両者が連携して事業化に取り組む「新需要創造協議会」（産地と企業により構成）の育成・活動を支援しています。

### 成分保証・分別管理システム確立推進事業・成分保証・分別管理機械・施設等整備事業

「GABAを多く含む巨大胚芽米」をはじめとした新食品・新素材の場合、産地や企業にとってリスクが高く、なかなか産地への導入や事業化に踏み切れないといった課題があります。

このため、各産地が企業と連携して、「GABAを多く含む巨大胚米」を活用した新食品の事業化や、新たな産地づくりを進めるに当たり、「新需要創造協議会」を設立して、企業との契約取引により上記の品種を生産し、他品種の混入がなく、品質が保証された新食品として販売するための事業計画書（新需要創造計画）を策定して国の認定を受けることにより、国の直接採択事業として、新需要創造対策事業による支援を行うスキームを設けています。新需要創造計画が認定されると、

① GABAを多く含む水稻品種を産地に導入し、安定供給する体制を確立するのに必要な技術実証、栽培や品質の管理のためのマニュアルの作成、協議会の構成員による技術講習会の開催などに支援を行います（成分保証・分別管理システム確立事業、補助率：1/2）

② GABA含量を保証するために必要な分析機器や、GABAを多く含む水稻品種を他品種と分別して生産・出荷するのに必要な機械・施設（専用の共同育苗施設、乾燥調製施設、共同利用機械等）の整備などに支援を行います（成分保証・分別管理機械・施設等整備事業、補助率：1/2）。

なお、成分保証・分別管理システム確立推進事業は、「新需要創造協議会」又はその構成員となっているJA、農業法人等が支援の対象となります。また、成分保証・分別管理機械・施設整備事業は、「新需要創造協議会」の構成員となっているJA、農業法人等が支援の対象となります。

問い合わせ先 （社）農林水産技術情報協会 小倉、氏原 TEL 03-3667-8931

e-mail [aogura@afftis.or.jp](mailto:aogura@afftis.or.jp) [ujihara@affrc.go.jp](mailto:ujihara@affrc.go.jp)

農林水産省生産局生産技術課 杉山、貝谷、宮本 TEL03-3502-8111（内線4773）

関連ホームページ（農林水産省） 農業・食品産業競争力強化支援事業（直接採択）（要綱・要領等）

<http://www.maff.go.jp/soshiki/nousan/seisantai/saku/shienjigyoku.html>